

仕事と家事の マルチタスク化

法政大学 経営大学院 教授／豊田 裕貴

第4回は「家事楽・時短」でできた時間の活用などから
次世代へのヒントを探ります。

家事楽・時短でできた細切れ時間をどう使うか

データ活用の一つは現状を把握することですが、実はデータ分析にはもう一つミッションがあります。現状把握というのは「今」ですから、その先のトレンドを予測するというのも一つです。トレンド予測は当



たり外れがありますが、一つだけ例をご紹介します。

ポイントは、データをストーリーとして眺める点にあります。データの現状把握から「家事楽・時短」があるとわかったら、その先に何がありそうかを考えていきます。時間や手間が節約できたら、それを何に使うか。それをストーリーにまとめていきます。

キーワードは「細切れ」です。「家事楽・時短」をして、集まった時間である細切れの時間を全部シフトして夜中に30分使うということは現実的に無理です。そこでまず細切れ時間をどう活用するかです。

家事を細切れでもできるようにする

例えばちょっとした時間にショッピングをしてしまうとか、今まではお店に行く必要があったのが、ネットショッピングなら5分あれば何かが買えたり、注文しておいて取りに行くだけにしておくとか、今は細切れ時間の活用というのはネット系の話ばかりです。しかし細切れ時間を活用するには、今まで細切れではできなかった家事を細切れでもできるようにするのがポイントです。

近ごろではそれに対応した商品も増えてきました。

